

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025 年 3 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

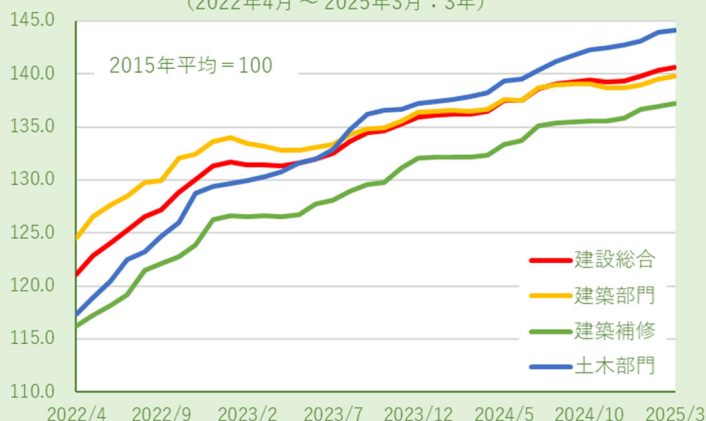
1. 指数の動向（全国平均）

2025 年 3 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均) が **140.6** となり、前月比+0.2%(+0.2 ポイント)と **4 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.2%(+4.4 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **139.8** となり、前月比+0.2%(+0.3 ポイント)と **4 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+2.4%(+3.3 ポイント)となった。**建築補修**は **137.2** となり、前月比+0.2%(+0.3 ポイント)と **4 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.8%(+5.1 ポイント)となった。**土木部門**は **144.1** となり、前月比+0.1%(+0.2 ポイント)と **2020 年 5 月以来 58 カ月連続の上伸**となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.5%(+6.3 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年4月～2025年3月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【紙・木製品】屋根用アスファルト防水シート

アスファルト価格の値上がり为背景とした製造コスト増によるメーカーの値上げ浸透により、プラスに寄与

【窯業・土石製品】板ガラス製品

人件費や燃料油などの輸送コストの増加を背景に、大手メーカーの値上げが浸透し、プラスに寄与

マイナス寄与

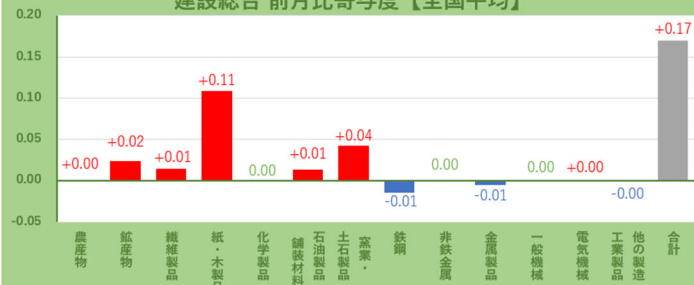
【鉄鋼】H形鋼・異形棒鋼

需要減少による販売店間の受注競争激化に伴い市況が下落し、指数動向のマイナスに寄与

【金属製品】建設用金属製品

H形鋼などの素材価格の下落を受けて、鉄骨加工製品の価格の下落が、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

上記のプラス寄与要因のほか、元売りの卸値引き上げによる軽油価格の上伸や、長引く需要低迷による生産性の悪化や為替の影響による輸入原料の値上がりを背景とした量表の価格の上伸などが各都市の指数動向のプラスに寄与した。

都市別に見ると【福岡】(前月比+0.5%)では、原材料費の上昇や輸送コストの増加などを背景とした砂利・碎石、コンクリート製品の価格が上伸し、指数動向のプラスに大きく寄与する結果となった。また、【高松】(同+0.3%)では、福岡と同様に、コンクリート製品の価格上伸が、指数動向のプラスに寄与した。また【那覇】では、大型案件による需要の増加を背景に、樹木類の市場価格が値上がりし、指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2025年3月分】

全国平均：140.6	新 潟：137.6	札 幌：141.6
前 月 比 +0.2%	前 月 比 +0.2%	前 月 比 +0.1%
前年同月比 +3.2%	前年同月比 +3.5%	前年同月比 +3.6%

広 島：139.6	大 阪：144	仙 台：135.9
前 月 比 +0.1%	前 月 比 +0.1%	前 月 比 +0.1%
前年同月比 +3.7%	前年同月比 +2.8%	前年同月比 +3.0%

福 岡：142.4	東 京：140
前 月 比 +0.5%	前 月 比 +0.1%
前年同月比 +3.4%	前年同月比 +3.1%

那 覇：139.5	高 松：148.8	名古屋：141.7
前 月 比 +0.2%	前 月 比 +0.3%	前 月 比 +0.1%
前年同月比 +2.9%	前年同月比 +4.2%	前年同月比 +3.5%

一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤・伊沢

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp